

2022年夏季学連練習会

| 6日(土) | | | 7日(日) | | |
|-----------------------|---------------------|-------|--|-------------------------------|-------|
| 9:30～ | 全体ミーティング | ギャラリー | 9:45～12:00 | ルール講習 地方公認審判員試験 | ギャラリー |
| 9:45～12:00 | ルール講習 地方公認審判員試験 | ギャラリー | 13:00～13:30 | 銃のセッティング方法 について | ギャラリー |
| 12:30～14:00 | インテグリティ 講習会 | 多目的室 | 15:00～ | 新ルール練習:20発点取り (15:20 本射開始) | 射座 |
| 15:00～15:50 対象:学連員 | 学連員新人研修 ピストル用検研修 | 多目的室 | どの時間帯でも、企画の妨げにならない限り、 空き射座での練習は自由にできます。 両日とも16:30頃までに全的終了、片付けを 始められるようにして下さい。 | | |
| 15:00～ 対象:一般射手 | 全体練習 | 射座 | | | |

○BR 射座→左側:学園大 | 右側:北大

○ルール講習・地方公認審判員試験[総務幹事 宮本] | 対象:全員 | 場所:ギャラリー

前半のルール講習では、競技規則集から抜粋してルール学習を行う。地方公認審判員試験ではルール講習内容に基づいて試験を行う。全員が2日間に分けて受講する。

*2日間のうち、どちらかで必ず受講・試験受験して下さい。

○インテグリティ講習会[須藤] | 対象:希望者 | 場所:多目的室

2019年度以降にインテグリティ講習を受講していない人を主な対象に、インテグリティ講習会を実施する。他支部や北海道支部における最新の事故事例を踏まえた事故防止講習、「スポーツ教育」について理解する。

○全体練習[遠藤] | 対象:一般射手(銃所持者) | 場所:射座

学連員新人研修と並行して、一般射手(非学連員)向けの基礎練習を実施する。

*射手は15:05までに、射座(場所は自由)に入場して撃てる準備を完了させて下さい。

○学連員新人研修[学連2年目]・ピストル用検研修[須藤] | 対象:学連員 | 場所:多目的室

今年度新たに入る学連員に対し、用具検査・銃器検査手法を中心に試合運営について教授する。

また後半では、秋学から行うピストル用検について、学連員全体へ方法を共有する。ピストル銃器検査で特徴的な項目として「外形計測」「トリガー重量計測」の2項目があるが、北海道学連では当面、トリガー重量計測をDSQ対象として行い、外形計測は警告に留める。またこれ以外のピストル重量・着衣・シューズなどは競技規則指定の方法で行う。

○銃の正しいセッティング方法について[副支部長 和泉年昭さん] | 対象:希望者 | 場所: ギャラリー

せっかく銃に調整の自由があるのにも関わらず、無理な姿勢をとっている学生が多い。
自分の姿勢に合わせて調整するという概念が薄いのでは？
セッティングを通じて、正しい姿勢、サイトの覗き方、グリップのしかた、
トリガーの引き方といったことを再確認してもらおう。

○新ルール練習:20発点取り

北海道支部運営試合では、2022年秋学から新ルールでの本選運営を始める。また、エアピストルでの試合前トリガー重量検査も実施する。これに際し、学連員の試合運営の練習および新ルール周知を兼ねて、ATL~20発(第2シリーズ)までの点取り練習を行う。学連員においては下記の新人研修を兼ねて、新人学連員に試合運営の流れを体感して貰う。的検、フォローアップ検査を実施する。

・参加人数: AR 男子6名以内・AR 女子6名以内・AP 若干名

ATL 15:00 ⇒ 準備および試射の時間 15:05 ⇒ 本射開始:15:20(試合時間 30分)

満点(AR:218点、AP:200点)からの得点率で1位から順位付けを行い、上位3名には景品を贈呈する。

・新型コロナウイルス感染症対策について

日本学生スポーツ射撃連盟 北海道支部(以下、北海道支部)では、「公益社団法人 日本ライフル射撃協会 競技会等開催・実施時の感染防止策ガイドライン/チェックリスト」(本案内の末尾に添付)に従って運営する。参加者においても、このガイドライン/チェックリストを遵守の上、感染症対策を徹底したい。なお当日、入場時に検温を実施する。また、移動中の車内など、狭い空間に人が密集した状態での食事については行わないよう、各自にて気を付ける。

各校代表者においては、【感染者/濃厚接触者】を行事へ参加させないよう、感染者/濃厚接触者の把握・管理の徹底をするよう強く要請する。また行事参加者にて開催後2週間以内に、新型コロナウイルス感染症の陽性と判定された場合は、代表者を通じて北海道支部幹事長へ速やかに届け出ること。

公益社団法人日本ライフル射撃協会 競技会等開催・実施時の感染防止策ガイドライン/チェックリスト

全般的な事項 開催にあたっては開催地の自治体基準に従うこと

- 各事項がきちんと遵守されているか会場内を定期的に確認すること
- 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加当日に参加者より提出を求めた情報について、保存期間（少なくとも1月以上）を定めて保存しておくこと
- イベント後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合や、地域の生活圏において感染拡大の可能性が報告された場合、施設の立地する自治体の対応方針に従うこと

競技会等参加募集時の対応

- 参加者が以下の事項に該当する場合は、参加の見合わせを求める（募集要項に明記）
 - 体調がよくない場合（例：発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
 - 同居家族や身近な知人に感染が疑われる方がいる場合
 - 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航 又は当該在住者との濃厚接触がある場合
- マスクを着用
（射座で競技を行っていない、参加受付時や着替え時等の際にはマスクを着用）
- こまめな手洗い、アルコール等による手指消毒を実施すること
- 選手間は1m以上を確保して競技できるよう射座配置を工夫すること
- 感染防止のために主催者が決めたその他の措置の遵守、主催者の指示に従うこと

当日の参加受付時の対応

- 射場役員、スタッフには、熱中症に注意した上で、マスクを着用させること
- 当日、複数射群の場合は各射群毎に受付を行い、競技終了後は滞留することなく帰宅を推奨

競技会等参加者への対応

- マスク等の準備
 - 参加者がマスクを準備しているか確認すること
 - 競技を行っていない際にはマスクを着用すること 着用する場合は熱中症に注意すること
- 観客の管理
 - 観客同士が密な状態とならないよう、必要に応じ、あらかじめ観客席の数を減らすなどの対応をとること
 - 熱中症に注意の上、マスクを着用すること
- 競技会場
 - 競技会を室内で実施する場合には、換気の悪い密閉空間とならないよう、十分な換気を行うこと
 - 定期的に窓を開け外気を取り入れる等の換気を行うこと
- ゴミの廃棄
 - 自分のゴミは、自分で持ち帰るように掲示すること
 - マスクや手袋を脱いだ後は、必ず石鹸と流水で手を洗い、手指消毒すること

主催者の射撃場管理者への依頼事項

- 手洗い場所
 - 手洗い場には石鹸（ポンプ型が望ましい）を用意すること
 - 「手洗いは30秒以上」等の掲示をすること

各競技会の特性等を勘案して、上記以外に必要な取組を適宜盛り込んでいただきますようお願いいたします